

# 立命館大学技術士会 第8回総会

## 議 案 書

# R

平成29年(2017年) 6月24日

(一社)中央電気倶楽部 513号室

13:00 ~ 17:00

## 立命館大学技術士会第8回総会議案

### < 第1号議案 >

立命館大学技術士会第7期(2016年4月1日～2017年3月31日)事業報告

### < 第2号議案 >

立命館大学技術士会第7期決算報告および監査報告

### < 第3号議案 >

第8期事業計画(案)および予算(案)

### < 第4号議案 >

第8期役員人事(案):敬称略

## < 第1号議案 >

立命館大学技術士会第7期(2016年4月1日～2017年3月31日)事業報告

### (1) 会員拡大と組織強化

本会の基盤強化として、本会員、特別会員、準会員および賛助会員合計150以上を目標としたが、第7期末結果は、本会員165名(内退会18名)、特別会員1名、準会員1名および賛助会員6社の合計155であった。

建設会と連携し会員拡大を図ったが、大きな成果には至っていない。

建設会、建立会等のOB会を通じて、今後も拡大を図る必要がある。

建設会報に、技術士懇談会、JABEE説明会の情報掲載を実施した。

合格者の入会を促進し、会員拡大を図る等、今後も組織強化を図る。

引き続き、会員にとって魅力ある団体を目指し、会員拡大と組織強化を行っていく。

### (2) 技術士試験受験への支援

H28年度技術士第二次試験受験支援は、2016年5月14日、6月18日の2回、受験支援講習を実施した。

口頭試験支援は、11月12日他で実施し、3名が合格した。

H29年度技術士第二次試験受験支援は、2017年3月4日、4月1日の2回、受験ガイダンスとして受験申込書、部門と専門事項の整合を核に指導する講習会を実施した。

### (3) 立命館大学への支援

大学の環境・都市系学科の授業を活用し、連携した講義を実施した。

①環境システム工学科3回生(70名)を対象に、「技術者のキャリア形成」に向けた指導のため、『第6回立命技術士懇談会』を7月14日BKCにて実施した。プレゼンは、公務員、コンサル、ゼネコン各職種の職務と役割である。懇談会后、トリシア前内庭で先生方および学生達と懇親交流会を開催した。前年に引き続き開催し、支援の継続を確認できた。

なお、これまで都市システム工学科2回生を対象に実施してきた『立命技術士懇談会』は、「建設関連業イメージアップ促進協議会」主催のガイダンスと時期が重複したため、2016年度は休止した。

②環境システム工学科1回生(75名)を対象に、『JABEE認定制度と技術士資格に関する説明会』を12月22日に開催した。

JABEE制度を活かすには、取得した後輩達が技術士第二次試験に積極的にチャレンジすること、後方支援する環境が求められる。

以上の『立命技術士懇談会』および『JABEE認定制度と技術士資格に関する説明会』については、(公社)日本技術士会近畿本部および建設会の後援を得て、実施している。

また、大学の科学技術教育活動に協力し、理工学部特殊講義および理工学研究科授業への講師を派遣した。

#### (4) 技術講演会および親睦会

会および会員相互の資質向上として講演会等を企画し、第7回総会時に歌一洋建築研究所の歌一洋様より、「四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクトへの思い-空海・祈り・支え合い-」について、宗本晋作准教授より「小さな建物、大きな広がり-学生と歩む宮古復興支援活動-」について特別講演を実施した。

また恒例の交流懇親会は、11月12日に「モリシタ」にて開催した。その折、大森会長より、「コミュニケーション能力」の所感について、発表があった。また、西村幹事から平成28年度活動報告および「会員の広場」開設企画書(案)の説明と当日参加の会員に対し意見等の伺いがあった。

#### (5) 会計基金を充実させ、事業企画を推進する

①技術士受験支援基金(受験講習イベント、講師謝礼等)、②講演会・交流企画基金(講演会イベント、交流会イベント等)、③大学支援・共同企画基金(JABEE支援、共同講演会企画等)の3種の基金を設け、各事業企画に応え、活用していくこととした。

次年度以降も更に資金の充実を図る。

< 第2号議案 >

立命館大学技術士会第7期決算報告および監査報告  
(2016年 4月 1日~2017年3月31日)

項 目	予 算	決 算	摘 要
(1) 収入			
①会費等収入	300,000	176,000	個人会費 (88名納入)
	50,000	150,000	賛助会費 (6社)
	50,000	20,000	その他
		346,000	
②講習会収入	30,000	17,000	講習会参加費(17名)
③復興支援金	25,000	22,000	交流懇親会にて
④その他	1,678	2	ゆうちょ銀行利息、その他
		39,002	
----- 今期計		385,002	
⑤前期繰越金	53,322	53,322	前期残高合計
合計	510,000	438,324	
(2) 支出			
①会員技術研修等支援活動費	110,000	60,000	
②大学教育支援活動費	80,000	30,000	
③技術士試験受験支援活動費	90,000	81,169	
④その他活動費(復興支援金等)	80,000	35,288	22,000+13,288=35,288
⑤通信事務費	30,000	25,132	
⑥会費振込手数料	10,000	4,150	
----- 上記計	400,000	235,739	
⑦大学支援・共同企画基金	100,000	100,000	
⑧予備費	10,000	-	
----- 今期計	510,000	335,739	
	収入額	438,324	
	支出額	335,739	
	----- 収支合計=	102,585	... 次期繰り越し金額
<p>監 査 報 告</p> <p>立命館大学技術士会第7期会計内容につき、通帳、金銭出納簿、領収証 および入金書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。</p> <p>平成29年 5月 1日</p> <p>立命館大学技術士会</p> <p>会計監事 宮川 繁雄 </p> <p>会計監事 村山 稔 </p>			

積立基金会計（ゆうちょ銀行）

預金名	預け年月日	預け金額	払戻(開始) 年 月 日	年 利 率 %
定額貯金① 受検支援基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金② 講演交流基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金③ 大学支援基金	27-03-30	¥150,000	27-09-30	0.04
定額貯金④ 活動基金等	28-03-29	¥100,000	28-09-29	0.01
定額貯金⑤ 活動基金等	29-03-30	¥100,000	29-09-30	0.01
合 計		¥650,000		

\* 定額貯金の利率は3年以上預けた場合の年利率である。  
また満期時は10年経過となり、通常口座に振り替えられる予定です。

< 第3号議案 >  
第8期事業計画(案)および予算(案)

< 事業計画(案) >

(1) 会員拡大と組織強化

本会の組織基盤を確立するために、会員の拡大・増強を引き続き行い、正会員、特別会員、準会員および賛助会員について、計200以上を目標に更なる基盤構築を図る。

(2) 技術士試験受験への支援

既に開催した受験ガイダンスに続き、昨年同様、5月13日に第3回受験講習会、6月17日に第4回受験講習会を実施している。

昨年同様、試験実施が7月中旬となり、第4回目を早めて実施した。またH30年度の受験については、これまで同様に3月と4月に受験ガイダンスを予定している。

今年の筆記試験合格者の口頭試験支援として、11月11日に模擬口頭試験を予定している。

詳細は、HPにおいて掲載・募集する。

(3) 立命館大学への支援

昨年に引き続き、環境システム工学科および昨年は中止した都市システム工学科の学生を対象に、『立命技術士懇談会』を企画する。

『第7回立命技術士懇談会』は、環境システム工学科3回生を対象に、7月中旬頃に開催。『第8回立命技術士懇談会』は、都市システム工学科3回生を対象に、後期授業10月中旬頃に開催を予定する。

また、『JABEE制度と技術士制度の説明会』は、環境システム工学科1回生を対象に、後期授業12月に開催を予定する。

これらを核に更なる大学支援を、環境・都市系学科と連携して図っていく。

なお、『立命技術士懇談会』は、引き続き(公社)日本技術士会近畿本部および建設会の後援をいただき、実施する。

(4) 技術講演会および親睦会

総会時に特別講演を実施し、大学との連携講演を企画する。

また、交流懇親会は継続して実施し、会員相互の幅広い交流へと企画、展開していく。

< 予 算(案) >

① 収 入

(1) 会費等	本・特別・準会員	300,000
	賛助会員	150,000
	その他	20,000
(2) 講習会等		30,000
(3) 復興支援金		27,000
(4) その他		415
(5) 前期繰越金		102,585
合 計		630,000

② 支 出

(1) 会員技術研修等支援活動費		110,000	
(2) 大学教育支援活動費(支援活動派遣費・協力費含む)		130,000	1,500円/人*25 含む
(3) 技術士試験受験支援活動費(支援活動派遣費・協力費含む)		140,000	1,000円/人*50 含む
(4) その他活動費(復興支援金等)		80,000	
(5) 通信事務費		30,000	
(6) 会費振込手数料		10,000	
上 記 計		500,000	
(7) 大学支援・共同企画 基金(3活動基金)		100,000	
(8) 予備費		30,000	
合 計		630,000	

積 立 基 金 会 計 (ゆうちょ銀行)

預 金 名	預け年月日	預け金額	払戻(開始) 年 月 日	年 利 率 %
定額貯金① 受検支援基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金② 講演交流基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金③ 大学支援基金	27-03-30	¥150,000	27-09-30	0.04
定額貯金④ 3活動基金	28-03-29	¥100,000	28-09-29	0.01
定額貯金⑤ 3活動基金	29-03-30	¥100,000	29-09-30	0.01
定額貯金⑥ 3活動基金	30-03-30	¥100,000	30-09-30	0.01
合 計		¥750,000		

\* 定額貯金⑥が第8期の基金予定額である。

\* 定額貯金の利率は3年以上預けた場合の年利率である。

また満期時は10年経過となり、通常口座に振り替えられる予定です。

< 第4号議案 >

第8期役員人事(案):敬称略

役職名	氏 名 (敬称略)	卒 業 年	部 門	
会長 (1名)	大森 秀高	S 50	建 設	
副会長 (6名程度)	楠本 博	S 54	建 設	
	土屋 光弘	S 58	建 設	
	太田 和夫	H 05	建 設	
	橋口 正悟	H 15院	建 設	
幹事 (20名以内)	大森 秀高	留任	S 50	建 設
	糸田川 廣志	留任	S 47	上下水道
	西村 敏	留任	S 54	上下水道
	楠本 博	留任	S 54	建 設
	日室 伸一	留任	S 54	上下水道
	沢田 道彦	新任	S 54	建 設
	吉田 順一郎	留任	S 55	建 設
	久後 雅治	新任	S 57	建 設
	土屋 光弘	留任	S 58	建 設
	野村 嘉樹	留任	S 60	上下水道
	星野 和之	留任	H 03	建 設
	青山 裕之	留任	H 05	建 設
	太田 和夫	留任	H 05	建 設
	今井 豊	留任	H 08	上下水道
	春田 健作	留任	H 12院	建 設
	今道 洋	留任	H 13院	上下水道
長谷川 真也	留任	H 13	建 設	
橋口 正悟	留任	H 15院	建 設	
服部 亘啓	留任	H 17院	建 設	
幹事長	糸田川 廣志	留任	S 47	上下水道
監事 (2名)	村山 稔	留任	S 49	建 設
	兼塚 卓也	新任	S 57	建 設

幹事および監事以外の役員

役職名	氏 名 (敬称略)	摘 要
顧問	児 島 孝 之 山 田 淳 田 中 伊 三 雄	
相談役	奥 村 一 大 同 淳 之 岸 田 順 三 渡 邊 郁 夫	